

令和2年5月期 横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のトピックス》

- 新型コロナウイルス感染症の報告が続いています。
- 定点把握対象疾患の多くが、例年より低めの報告数で推移しています。

◇ 全数把握の対象

〈5月期に報告された全数把握疾患〉

腸管出血性大腸菌感染症	1件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
A型肝炎	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1件
レジオネラ症	3件	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
アメーバ赤痢	3件	水痘(入院例に限る)	1件
ウイルス性肝炎	2件	梅毒	6件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7件	百日咳	1件
急性脳炎	1件	—	—

- 1 腸管出血性大腸菌感染症: O血清群不明ベロ毒素VT1(無症状病原体保有者)の報告が1件ありました。
- 2 A型肝炎: 感染経路等不明(ワクチン接種歴無)の90歳代の報告が1件ありました。
- 3 レジオネラ症: 肺炎型の報告が3件ありました。
- 4 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が3件あり、いずれも感染経路等不明です。
- 5 ウイルス性肝炎: B型ウイルス性肝炎1件(ワクチン接種歴不明)、C型ウイルス性肝炎1件の報告がありました。
- 6 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 7件の報告がありました。そのうち3件で医療器具関連感染が推定されています。
- 7 急性脳炎: 病原体不明の30歳代の報告が1件ありました。
- 8 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: 創傷感染が推定される50歳代の報告が1件ありました。
- 9 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む): 同性間性的接触による感染が推定されるAIDSの報告が1件ありました。
- 10 侵襲性肺炎球菌感染症: 10歳未満の報告が1件(ワクチン接種歴4回あり)、80歳代の報告が1件(ワクチン接種歴不明)ありました。
- 11 水痘(入院例に限る): 40歳代の検査診断例(ワクチン接種歴無)が1件ありました。
- 12 梅毒: 無症状病原体保有者1件、早期顕症梅毒Ⅰ期2件、早期顕症梅毒Ⅱ期2件、晚期顕症梅毒1件の報告がありました。推定される感染経路は異性間性的接触5件、不明1件で、性別は男性3件、女性3件でした。
- 13 百日咳: 感染経路等不明の10歳未満の報告(ワクチン接種歴4回あり)が1件ありました。

◇ 指定感染症

新型コロナウイルス感染症の報告数は神奈川県にて集約されています。

神奈川県衛生研究所ホームページをご参照ください。

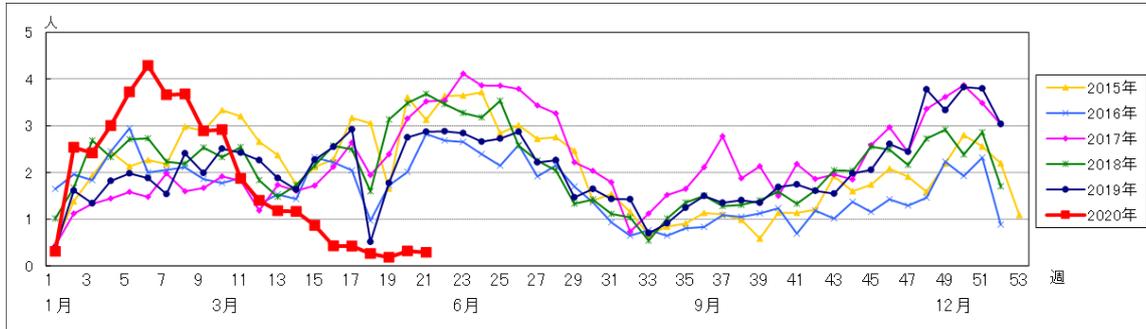
神奈川県衛生研究所感染症情報センター

http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/003_center/03_center_main.htm

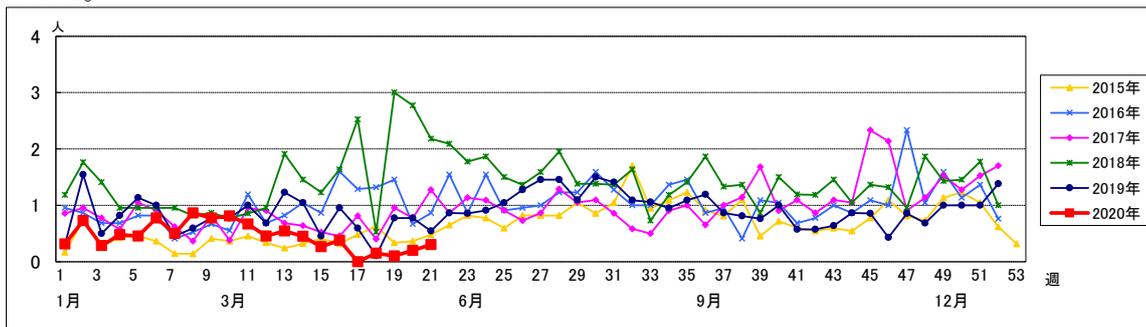
◇ 定点把握の対象:

報告週対応表	
第17週	4月20日～ 4月26日
第18週	4月27日～ 5月 3日
第19週	5月 4日～ 5月10日
第20週	5月11日～ 5月17日
第21週	5月18日～ 5月24日

1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 第6週の4.29をピークにその後減少し、例年より低めの報告数で推移、第21週は0.29となっています。



2 流行性角結膜炎: 例年この時期より増加傾向がみられますが、報告数は低めで推移し、第21週は0.30でした。



3 性感染症(4月)

性器クラミジア感染症	男性:24件	女性:15件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性: 5件	女性: 9件
尖圭コンジローマ	男性: 9件	女性: 6件	淋菌感染症	男性:16件	女性: 2件

4 基幹定点週報

	第17週	第18週	第19週	第20週	第21週
細菌性髄膜炎	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(4月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	7件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
 横浜市衛生研究所ホームページ URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryō/eiken/>